

## 米国MLP市場の現状と今後の見通しについて

2016年6月21日

※以下のデータおよびコメントは、CBREクラリオン・セキュリティーズのコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

### <米国MLP市場の現状>

原油価格は2014年半ばから2016年初まで下落基調となりましたが、2016年2月中旬から反発に転じ、6月初旬まで回復基調が続いています。原油価格の回復を受け、エネルギー・セクター全般に対する投資家心理のみならず、エネルギー関連企業の資金調達環境も改善しています。

#### 原油価格の推移



また、エネルギー関連企業の資金調達環境の改善はMLPの今後の成長見通しを支える要因の一つであることから、資金調達環境が改善するにつれ、アレリアンMLP指数(トータルリターン、米ドルベース)も2016年2月の安値から約50%回復しています。

#### MLP市場の推移



※MLP市場の推移は、Alerian MLP Index(トータルリターン、米ドルベース)を使用しています。

※Alerian MLP Indexは、Alerianの商標であり、当該インデックスに関する全ての権利はAlerianに帰属します。

(出所)ブルームバーグ

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## <原油の需給バランスについて>

原油価格の回復は、需要拡大と原油価格の低下による需給バランスの調整に基づくものです。IEA(国際エネルギー機関)が6月中旬に公表した月報では、5月の原油生産は前年同月から日量59万バレル減少したほか、OPEC(石油輸出国機構)非加盟国の生産は前年同月比で日量130万バレル減少するなど、世界の原油生産量は減少傾向にあります。

### 米国の原油週間生産量と原油価格の推移



(出所)  
EIA(米国エネルギー情報局)の  
データを基に、CBREクラリオン作成



※原油価格は、WTI原油先物(第1限月)の価格を使用しています。

(出所)ブルームバーグ

中国やインドなどの新興国における原油需要は、都市化や生活水準の向上を背景として長期的に拡大を続ける見込みです。また、米国では自動車走行距離が増加するなど、先進国においても、需要の増加傾向が見られます。

CBREクラリオンでは原油の需給バランスの改善見通しから、2016年末に原油価格が1バレル60米ドル台に乗せることもであると予想しています。ただし、生産障害が起きているナイジェリアやリビアなどで生産が回復する可能性などには引き続き留意する必要があると考えています。

## <今後の見通し>

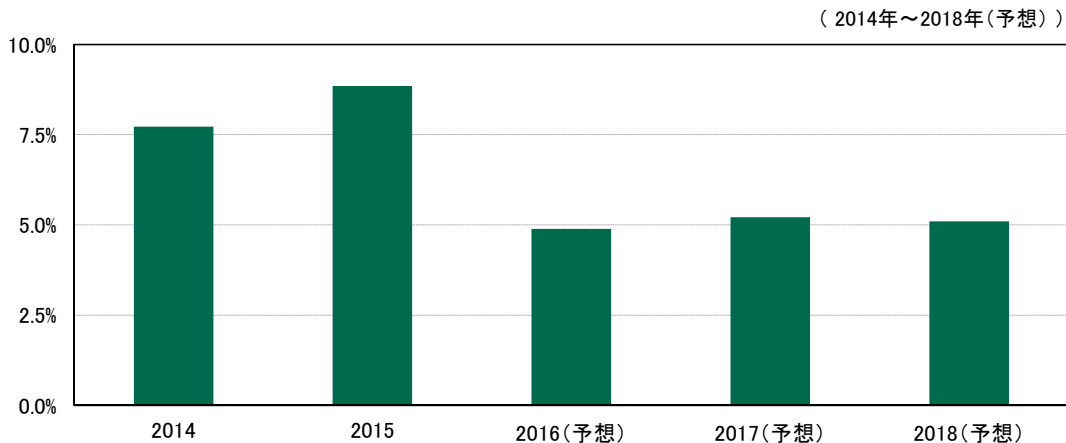
ここ数カ月でMLPに対する見通しは大幅に改善しています。その背景としては、すでに述べた通りですが、MLPが輸送、貯蔵、処理を担う商品の価格(原油、天然ガス、天然ガス液などの価格)が上昇してきたこと、エネルギー・セクターに対する投資家心理が回復してきたこと、資金調達環境が改善したことが挙げられます。これらは、MLP価格のみならず、エネルギー関連企業全般の株価を押し上げる要因となっています。

また、MLPは原油価格の低迷に直面し、設備投資、開発のペースが遅延する中でも、増配を継続しました。短期的な配当成長率は3-5%程度と予想しているものの、施設稼働率の上昇と遅延していた新規エネルギー・インフラ開発の再開などを背景に、数年後には成長ペースの加速が予想されています。

足元の相対的に高い配当利回りと配当成長期待などから、MLPは今後1年間において魅力的なトータルリターンとなる可能性があるかとみています。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

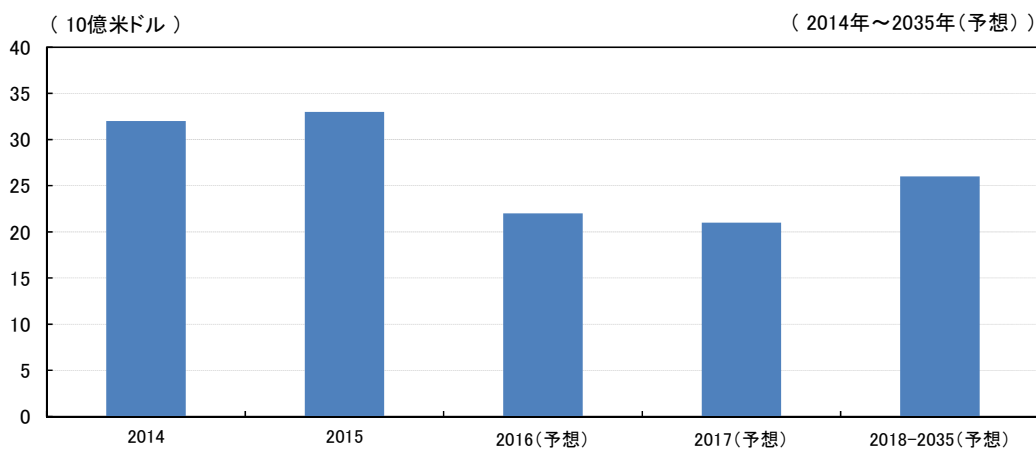
## MLP市場 配当成長の推移



※CBREクラリオンが想定する投資ユニバースを基に算出しています。  
※2016年以降は予想値です。

(出所)  
CBREクラリオンによる提供データを基に、大和投資信託作成

## 川中事業への設備投資額の推移



※2016年以降は予想値です。

(出所)  
ウェルズファーゴとINGAA(米国州間天然ガス協会)のデータを基に、CBREクラリオン作成

以上

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会